

令和7年度 第1回甲賀市文化のまちづくり審議会 議事録

日時 令和7年(2025年)8月1日(金)
18:00~20:00

場所 あいこうか市民ホール展示室

出席者 委員 大野会長、原副会長、今西委員、梅本委員、野崎委員、黒田委員、瀬古委員、
河尻委員、比留川委員、今野委員、山下委員、蚊野委員 以上12名
事務局 教育委員会事務局 立岡教育長、福井理事
社会教育スポーツ課 林課長、西森参事、嶋本課長補佐、藤田係長、前田主事

傍聴者 なし

1. 開会

審議会委員全員が出席であることから、甲賀市文化のまちづくり審議会規則第3条第2項の規定により、会議が成立していることを事務局から報告。

市民憲章 唱和

2. 開会あいさつ

立岡教育長 あいさつ

3. 委員委嘱状交付

代表して、新規委員による黒田委員に委嘱状を交付。
(他の委員については、机上配布とした)

4. 自己紹介

審議会委員、事務局の順で紹介。

5. 協議事項

- ・資料の確認

(1) 会長・副会長選任 【資料1】

会長：大野正雄 副会長：原 瑞世

以降、大野会長により議事進行

(2) 甲賀市文化のまちづくり審議会の概要【資料2】

事務局から説明
質問・意見なし

(3) 自主文化事業の取り組みについて【資料3・4】

事務局から説明

(委員)「令和7年度イベントのご案内」の中に、甲南のイベントがないのはなぜか？

(事務局) 甲南情報交流センター(プララ)については、令和7年度に工事に入るため、イベントは開催しない。

(委員) 昨年度20事業が行われたのに対し、令和7年度は15事業と減っているのはなぜか。

(事務局) 令和7年度のまだ計画段階にある事業は含まれていないのと、令和6年度は市制20周年でその関連事業も含まれ、例年より若干増えている。

(4) 甲賀市文化のまちづくり計画(3次計画)策定に向けて【資料5・6】
事務局から説明

(委員) 今の段階で良いので、条例が制定されたことで、何か計画されていることがあれば、お聞かせ願いたい。

(事務局) 構想段階のものがある。第2回審議会では報告できると考えている。

(委員) 施策3・4・5を重点的にというのは、何か思いがあるのか。

(事務局) ポイントを絞って考えた方が、議論が深まると考えた。委員より違う観点で深掘りしたい、ということであれば、それに異論はない。

(委員) 前期にスタートアップ支援という話が出ていたのを記憶している。実現化とか、実感を持ってもらうことができるものと思うが、いかがか。

(事務局) 例えば、施策3の「新しい試みの取り入れ」とか「クラウドファンディング」とか「新しいことに対する試みの支援」とかに該当すると思うので、文化芸術活動の支援という立場で議論をしていただければ、と考える。

(委員) 施策2に挙がっている「ピアノを送ろうコンサート」を13回開催したが、まだまだ知らない方もたくさんおられる。がんばっても500人ぐらいの集客しかなく、600・700人になってこないのが、一度市民ホールを満席にしたいと思っている。皆様にもご協力いただきたい。

(委員) 子どもたちの育成プログラムや協賛事業を、施策2の「地域のクリエイター」で、市内で活躍している人たちを中心とした文化芸術活動の支援をして、その方を中心とした事業・ワークショップが、甲賀市との共催事業になればいいのでは。市内で活動していて感じることは、やっぱり他所からの方による事業が多いかなと思う。知名度や集客も大切なことだが、市内にも色々な力を持った方がたくさんおられるのに、その方たちの名前を見ないことは残念である。

(委員) 2月のキックオフフォーラムの時に出了意見で、「甲賀市の中の誰が、どこで、どのような活動をしているか、また、活動する場所はどのようなところがある」というような、横のつながりがなかなか見えてこないのが、プラットフォーム的な何かがあればよいと思う。

(委員) 7.の既存施設の有効活用ということだが、「忍の里プララ」のホールが、

利用不能である。というのは、ロビーが「リアル忍者館」となっていて、ホールとして使いづらい。会議室に待機して、忍者館を通らないと利用できない、ということと、トイレが共有になっている状況である。このことを、条例を制定した市としては重く受け止めていただきたい。

(委員) リアル忍者館は既存施設を利用しているということで、いろいろな問題がある。現状では、建物が古くなってきていて、ホールをたくさんのお客様が使われるイベントをすると、エアコンをつけられない。今年度予算がつき、直していただくと聞いている。が、入口の問題は解決しない。観光まちづくり協会でも全館の管理を任せてほしいとお願いしており、また、利用者さん、実際に忍者館で働く人の声を聞いている。いろいろと改善していただいて、管理も任せてほしいと考えている。

(委員) 忍の里プララのロビーは、本来、ホールの利用者がくつろぐところなのに、それができなくなっている。条例ができたこの機会に、何か年計画でもいいので忍者館を別につくる、ということをして市として取り組んでもらいたい。

(委員) 条例ができてどう変わったのか、という評価の尺度や、条例ができたお知らせということは、結局は「数字」だと思う。イベントや事業を見に来てくれた方、参加してくださった方、ホールの利用者数に結局なるのかなど。施策6なんかでも、情報発信の結果は、結局来場者数だと思うので、数字で目標を掲げるまではいかななくても、ちゃんと追求して、増えていますよ、増やそうとしていますよ、という意識は持たないといけないのでは、と思う。既存の施設に対しても、「ただ単に古いからお金かけました」といっても稼働していなければお金をかけても無駄なので、「稼働率・利用率をあげるにはどうするのか」といったときに、「ここを直せばより利用していただけるのではないか」となるので、評価するとき、このような視点も必要では、と思う。

(委員) 今の「ホールの稼働率」ということに関して、自分自身が公演を打ちたいと思ったときにどこを選ぶかという、碧水ホールで、なぜかと言われると、やはり料金のことが絡んでくる。自分が公演を打ちたいと思っても、あいこうか市民ホールを埋められるだけの客がいないし、音響・照明は欲しい、となったとき、大きなホールは使いづらい。ホールを使いたい、と思っている人が、ロビーが広いから使いづらいのか、お金がないから使いづらいのか、客席が広いから使いづらいのか、考えられる原因をピックアップして解決方法を探った方が具体的な話が進むのかと思う。条例ができ、何が変わったのかとなったときに、やろうかやらないかのグレーゾーンにいる方が一歩踏み出せば一気に変わるのではと思う。

(委員) 子どもたちが文化芸術に触れていると、大人になっていく過程でそういうものが染みついて、大人になってもそういうものに触れていたいな、と思うようになる。甲賀市も「少子化が」「人口減少が」と言われている中で、子どもたちや子育て世代にどうアプローチしていくかということは、福祉であるとか、高齢者が趣味を楽しめるといったことも大事だが、未来を考えたときに、子どもたちに注力することが必要である。今の若い人が「戻ってきたい甲賀市」にするためには、子ども時代に「ここってやっぱり素晴らしいな、こんなに素敵な大人がいて、楽しかったな」と思ったら、住みたいと思うのではないか。ここに向かって何ができるかといえば、一つは文化・芸術の力ではないか、と思う。ぜひ、「子どもたちの想像力育成プ

プログラムの推進」というのは力を入れていただきたい。

(委員) 私は、吹奏楽を中学で始めて、そこからプロの道を目指そうと思い、高校の音楽科に進学した。やっぱり外に出ないと仕事がない、ということがあって、周りには様々な人がいた中で、私は地元に戻ってきて、なんとか仕事をつないできているが、それでも、仕事がないということは大きい。

やはり、文化・芸術に触れ、そういうのを見て、芸術の道に進みたいとか、芸術関係の仕事ができるようなまちになれば、もう少し、文化芸術が発展するのではないかと思う。

(委員) 一般市民でも短歌をされていらっしゃる方はたくさんおられるが、それを託す場所がない。以前、短歌の大賞を設けていただいたときに、たくさんのお応募があった。市民が参加・参画できることが大事だと思う。

(司会) このことに関しては、継続的に話をしていくことになる。皆様それぞれの立場で、いろいろな意見をいただきたい。協議事項4に関してはここまでとする。

(5) その他 社会教育施設の空調設備改修工事に伴う施設休館について【資料7】事務局から説明

「(仮) うみがとおりにすぎたあとに」の映画制作について
事務局から説明
委員から補足

(委員)

今の子どもたちが文化・芸術に関して、どのような経験をされているか、知りたい。

(委員)

もっとたくさん子どもたちに文化や芸術に触れてもらいたい。そして、いつまでも触れていてほしい。市民ホール事業「0さいからの音楽会」などもいいと思う。小さい子どもと保護者、両方の世代に文化・芸術に興味を持ってもらえるといいと思う。

(委員)

文化協会に加入し、文化祭を計画・開催するが、高齢化による人数の減少に直面している。増やすにはどうすればいいのか、ここから何かヒントが得られればと思う。

(司会) 本日は貴重なご意見をありがとうございました。先ほどから申し上げているとおり、どれだけ具体的になっていくか、だと思う。何か行動で市民に対して働きかけができるように、よろしくをお願いします。

閉会

副会長 閉会あいさつ